

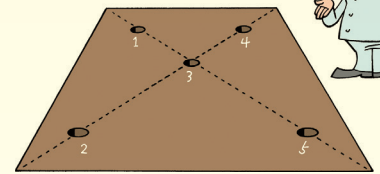
分析用土壌の採取方法

●●● 注意 ●●●

- 土に水分が含まれていたり、均一な大きさにないと正確なデータが測れません。乾燥・ふるいがけが絶対条件です。(乾燥・ふるいが不十分な場合は返送しますので分析が遅れます、乾燥・ふるいがけは徹底してください)
- 土の取り方によっては分析データに誤差が生じますので、正しく取りましょう。

採取の手順

- ①土を採取(作土15cm位)(果樹は30cm)
表層は約1cmを取り除く。
下図のように5ヶ所から採取する。
肥料が入らないように注意する。



- ②採取した土をよく混合する。



[水田・畑作の場合]

- ③乾燥(約10日)

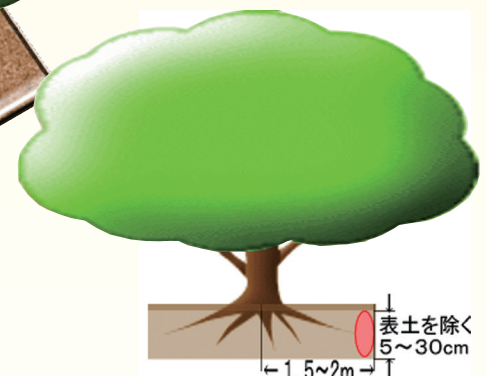
- ④ふるい(2mm)にとおす

- ⑤約300g(茶碗一杯分)を袋に入れる。

採取方法の例



[樹園地の場合]



サンプリングの注意事項

- ①採取時期は施肥前か収穫後の降雪前に行う。
- ②肥料袋に土を入れない。
- ③同じほ場での分析結果の経年変化を確認するため、ほ場名は毎年統一する。
- ④精密土壌分析では、分析項目が多いため多くの土壌を必要とします。茶碗一杯分は必ず守ってください。

詳しくは下記までお問い合わせください。

 JA全農あおもり

〒030-0847 青森県青森市東大野二丁目1番地15

TEL 017-729-8641(生産振興部 営農対策課) FAX 017-762-1078